

学童3人米へ武者修行

来春 空手道世界大会に

来年4月にアメリカ・ラスベガスで開かれる「2007 USA OPEN 空手道選手権大会」に、熊本市の空手クラブ「健全空」から福田聖志朗君（託麻西小3年）、堅志朗君（同一年の兄弟と、徳永知華さん（花園小5年）が出場する。3人は、11月に行われた健全空が所属する「和道会」の今年度ジュニアシヨナル強化チームの選考会で、全国の小中学生28人中に選ばれた。3人は形の中で優勝したい」と口をそろえ意気込みは十分だ。

聖志朗君、堅志朗君兄弟は、聖志朗君が小学校に入学するころに一緒に空手を始めた。週に3回、クラブで練習するほか、家でも毎

日、大きな鏡を置いた練習部屋で、母親のジュンさん（36）に見てもらいながら、1時間以上、形の練習をしてきたという。ジュンさんは「負けず嫌いの弟に、兄は負けられないという気持ちになって、お互い高め合っているのでは」と話す。

徳永さんの母親、由紀子さん（35）は同クラブの指導員でもあり、ラスベガスには引率者として同行する。「大きな大会は初めての子どもたちに、不安を与えることのないようにしたい。世界を経験することで、次へのステップになれば」と温かく見守る。

同クラブ代表の山内淳さん（36）は「会の信条は『明るく楽しく元気よく』。生涯スポーツとして空手を楽

しもうという姿勢でやってきた」と語る。聖志朗君は「大会で勝つとうれしい。空手はずっと続けたい」、堅志朗君は「きついけど楽しい。もっと練習をして試合で勝ちたい」、徳永さんは「4歳から空手をしています、やめたいと思ったことはない」とそれぞれ空手に熱中し、世界への初挑戦を心待ちにしている。

世界大会に出場する（左から）福田聖志朗君、堅志朗君、徳永さん

